



さくら湖だより

発行
国土交通省 東北地方整備局
三春ダム管理所
〒963-7722
福島県田村郡三春町
大字西方字中ノ内403-4
TEL0247-62-3145



田村地方植樹祭 開催

田村地方で毎年開催されている「田村地方植樹祭」が三春ダム近くのもみじ山で開かれ、田村地方の市町長をはじめ、自治体や各種団体、地元中妻小の6年生や関係者など約150名が参加し、紅葉の苗110本が植樹されました。
今年10周年を迎えた三春ダムにとっても記念の植樹となりました。



三春ダムからの
お願い



リフレッシュ放流の実施により、ダム下流の水位が上昇しますので、河川をご利用の際には
ご注意ください。

第1回目を平成19年6月19日(火)より、10月9日(火)までの隔週火曜日に合計9回の実施を予定しています。

リフレッシュ放流とは、これまでの毎秒2.0立方メートル程度の河川の流量を最大で毎秒20立方メートルまで増量させることにより

- ①川の石に付着した古い付着藻類を洗浄し、新しい付着藻類の成長を助ける。
- ②河川のだよみ等の環境悪化を解消する。
- ③底生動物、魚類の良好な生息環境の保全を図ること

などの効果を期待するものです。



リフレッシュ放流

三春ダム
建設のあゆみ
No.11

三春ダム定礎式

三春ダムの定礎式は、平成3年5月27日ダムサイトで行われました。式には、建設大臣代理の開発課長、福島県知事、東北地方建設局長をはじめとする来賓の皆さまと、それに工事関係者333人が出席し、工事の安全を祈願した後、局長が声高らかに定礎を宣言して式典が開始されました。

建設工事を始めるのに際し悠久の無事を祈って唄われる地元三春町に伝わる祝い唄(奥州七五郎節地固め音頭)によって、事務所長を先頭に工事課の職員と企業体の職員によって黒御影石の礎石が搬入されました。大臣代理・県知事・局長をはじめとする来賓代表によって鎮定の儀、斎鏝の儀、齋槌の儀が厳粛に執り行われ、最後にコンクリートを注入して式典は終了しました。



定礎式安全祈願祭



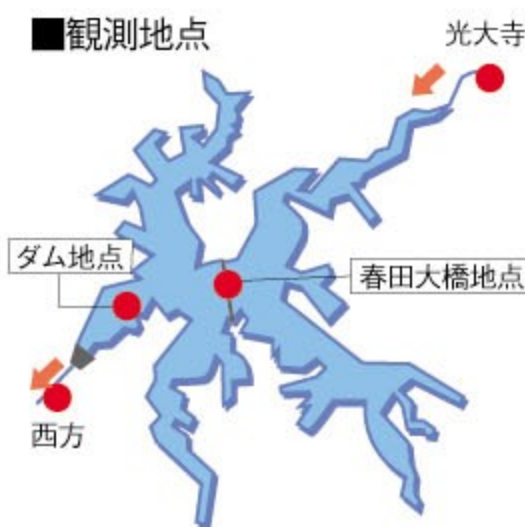
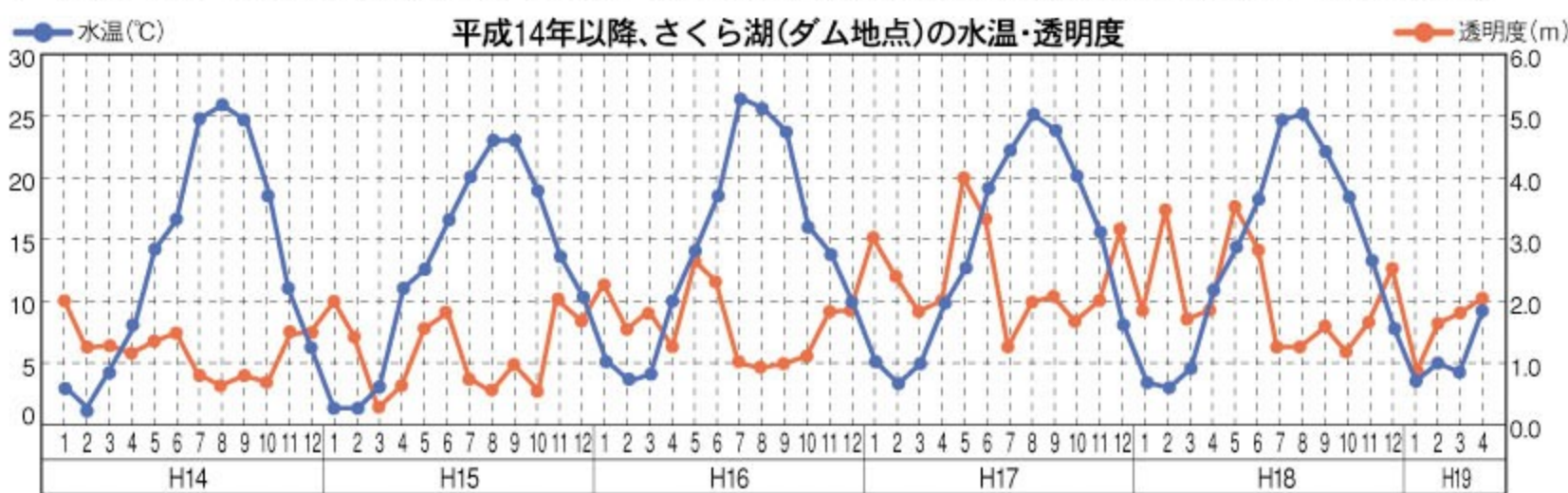
定礎石搬入



定礎式

水質の状況 (平成19年4月25日現在)

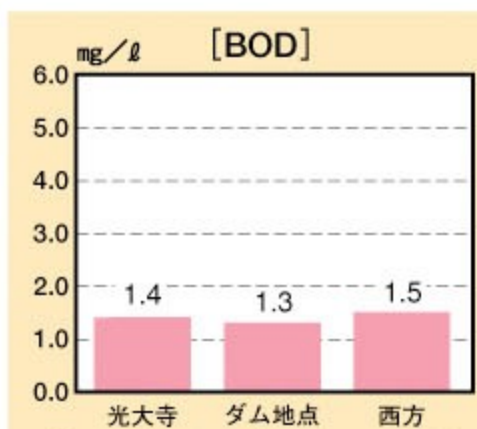
三春ダム管理所では、さくら湖や大滝根川の水質を定期的に観測しています。



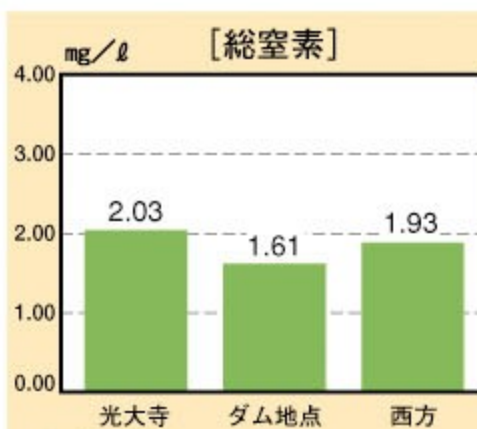
※18年1月17日と18年4月24日の値は濁度からの換算値



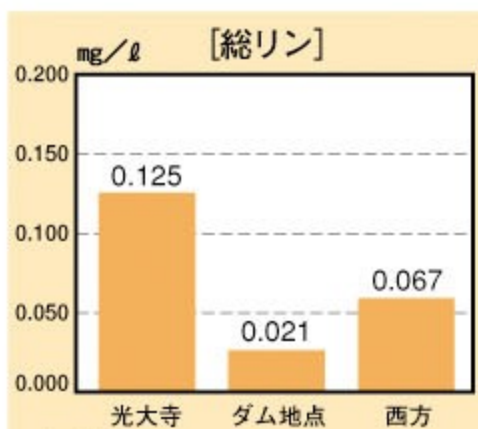
■COD(化学的酸素要求量)
コイ・フナ類が生息するためには5mg/ℓ以下が適当とされています。
※全層平均値



■BOD(生物化学的酸素要求量)
大滝根川では2mg/ℓ以下とされています。また、コイ・フナ類が生息するためには5mg/ℓ以下が適当とされています。 <0.5は0.5mg/ℓ以下



■総窒素
一般に窒素が0.15mg/ℓ以上であると富栄養化するとされています。



■総リン
一般にリンが0.02mg/ℓ以上であると富栄養化するとされています。

三春ダムからのお知らせ

三春ダムでは、皆様のご意見や情報の提供をおまちしています。

郵便またはFAXで

〒963-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4
国土交通省 三春ダム管理所 FAX 0247-67-3170

■インターネットでも、さくら湖だより・さくら湖管理ニュースを見ることができます。
ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>



お願い ダム下流での釣り、水遊びなど河川利用される方は、
気象情報・放流情報に十分注意をお願いします。



この印刷物に使用されている用紙の一部は、適切に管理された森林から切り出されたものです。適切に管理された森林とはFSC(森林管理協議会)の規定に従い、独立した機関により認証された森林を指します。インキは環境にやさしい大豆油インキを使用しています。